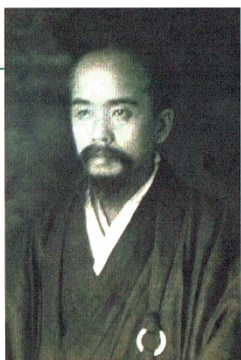


[連載] 第53回 清々しき人々 月尾嘉男 (東京大学名誉教授・工学博士)

最初にチベットに到達した日本人

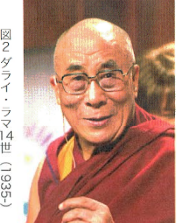
河口慧海



河口慧海 (1866-1945)

歴史 チベットの複雑な歴史

世界の屋根とマラヤ山脈の南麓にはネパール、ブータンが存在し、一九五五年まではシワキムも存在していた。一方、北側には面積が日本の六倍もあり標高の平均が四五〇〇メートルにもなるチベット高原が展開しています(図一)。この年平均降雨量は約四〇〇ミリメートルという乾燥地帯で旅行が難渋するため、七世紀に玄奘三蔵が仏教原典を入手するための大冒険に着手した。チベット高原が展開しています(図一)。この年平均降雨量は約四〇〇ミリメートルという乾燥地帯で旅行が難渋するため、七世紀に玄奘三蔵が仏教原典を入手するための大冒険に着手した。チベット高原が展開しています(図一)。



一九四九年に成立した中国人民共和国はチベットへ侵攻を開始し、一九五九年にダライ・ラマ十四世は亡命してインドに亡命政府を樹立することになりました(図二)。このように歴史のあるチベットに、明治時代、単身で探検に出向いた河口慧海を紹介しましょう。

鎖国状態のチベットを目指す 当時のチベットは厳重な鎖国状態であり、外国人は容易ではありませんでした。とくに、一八七六年六月に神戸から出航し、シンガポールを経由してイギリス植民地であったインドのカルカット(現のコルカタ)に到着した。そこで、後年の独立運動の闘いとして、日本と密接な関係になるスバス・チンドラ・ボースに出会い、その紹介でダージリン在住のチベット言語学者サツラツ・チャンドラ・ダールを紹介されます。

法蔵館 全訳 六度集経 一仏の前世物語 六度集経研究会訳 ブツタは前世では様々な生き物だった。絵本・小説で楽しめる物語。91巻を集めた仏典の翻訳。小学高学年~大人まで。三三〇〇円

石ころ博士入門 高橋博典・大木淳一 著 B5判 本体2,700円+税 石ころを洗い、ルーペや偏光顕微鏡で観察すると徐々にその生きた立ちを語り始めます。石ころの語る物語、それは壮大な地球のドラマです。新・雑草博士入門 芝田謙一 著 B5判 本体2,300円+税 雑草の形と色を観察し発見する。昆虫博士入門 大野正明 著 山崎秀一 著 B5判 本体7,500円+税 昆虫の多彩な形と生態に驚かす。全国農村教育協会 〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6 TEL.03-3839-9160(受付) http://www.zemokyo.co.jp

俗語百科事典 [7月新刊] 米川明彦 著 A5判 344頁 定価2,750円(本体2,500円)(S1066-3) 言語学から見た俗語の定義・位置づけから、知っていることとよっと思えることばの知識まで、多彩な内容を収録。進化でわかる人間行動の事典 小田亮・橋本和秀・大坪庸介・平石界 編 [6月新刊] A5判 320頁 定価5,500円(本体5,000円)(S2305-8) 「食べる」「考える」「結婚する」など、ヒトの日常的な行動について、主に行動の機軸と進化史に焦点を当て解説した中項目事典。世界自然遺産 小笠原諸島 一自然と歴史文化一 東京都立大学小笠原研究委員会 編 A5判 196頁 定価3,300円(本体3,000円)(R1008-9) 世界自然遺産・小笠原諸島の地形・気候・生態と歴史・文化・生活を深く知る。カラ一図版豊富。教師のための防災学習帳 小田隆史 編著 B5判112頁 定価2,750円(本体2,500円)(S0033-2) [内容]学校防災の基礎と意義・避難訓練・ハザードの種別・地形理解、災害リスク/情報を活かすこと/災害と人間のこころ/地球規模課題としての災害と国際的戦略/家庭・地域/防災授業/語り継ぎ 〒162-8707 新宿区新小川町6-29 ISBN 978-4-254を省略 TEL.03-3260-7631 FAX.03-3260-0180 http://www.asakura.co.jp

心に説教をしたところ、呪術を
かけられていたと誤解した家族
が同宿をさせてくれたという話
話もありました。このような苦勞
をしながら標高数千メートルの
高地を旅行して、ようやくチベ
ットの中心都市ラサに到達した
のです。

危険を察知して脱出

日本人では大岡が許可されな
いたが、中国人を名乗ってしま
い、大岡に名を乗っけてしま
った。大岡に知られてはチベッ
ト人の僧侶に变身、ラサで第二
の規模のセラ寺院に僧侶に
して入学し、複雑な生活をする
ことになりました。その期間に、
脱出した人間を治療したところ
医者として評判になり、次々と
患者が到来するようになりました。
そこで民衆からセラ・アム
チ(セラ寺院の医者)と名付
けられ、ついにタライ・ラマ一
三世に謁見許可されるまでに
なりました(図4)。

その結果、法王の侍医になる
ことを打診されたり、政府高官
の家族を治療して懸念を払っ
てきました。そこで急遽ラサ
からの脱出を決意しました。取
集した仏典を別送する手配をして
から、一九〇二年五月にインド
への脱出を取りました。脱出の
経路はブータン経由の道道、ネ
パール経由の道道もありま
すが、あくまで五重の関所のある公

道を選択しました。
関所の通過には通常一週間近
くの日数が必要でしたが、それ
では追手が到着してしまうの
では居る必要でした。そこで慧
海は関所の役人へ「自分は法王
の秘密の指令でカルカッタを目
指している。関所で時間がかかる
のは仕方がないが、時間がかか
る理由を書き留めたい」と
要求したところ、役人は早々に
厄払いをしたと通過させてく
れました。このような大胆な手
口で無事にカルカッタに到着
しました(図5)。

ところがインドに到着直後、
チベットから戻った商人がラ
サでは慧海と交際していた人々
が次々に投獄されていると伝
えます。そこで慧海はネパ
ルに逃げ、ネパール国王からラ
ライ・ラマ三世に寛大な処置
を要請する親書の送付を依頼
します。これにより問題が解決
しただけではなく、ネパールか
ら大屋の経典を贈呈されました。
このような出来事があったので、
慧海は出発から六年が経過した
一九〇二年五月に神戸に帰還
しました。

世界が目注していた 中央アジア

帰国した慧海はチベットでの
経歴を新聞に発表したが、大
変な話題になりましたが、現在
のように世界の情報が簡単に入
手できる時代ではなかったため、
半信半疑という社会の反応もあ

りました。西欧社会でも中央ア
ジアは未知の地域でしたから、
関心して三十年余りという日本
では当然の反応でした。そこで翌
年、探検の内幕を『西域旅行記』
として出版しました。これは五年
後にロンドンで「チベットで三
年」という題で英訳されて
います。
当時、探検の人間で中央アジ
アを探索したのはスウェー
デンの地理学者スウェン・ヘデ
ンでした。一八七〇年から九
七年にかけてロシアのウラル山
脈からタタリマカン砂漠を横断
して北京に到着。九九年から九
九〇二年にかけてはチベット高
原の北部を探索して古代都市楼
蘭の遺跡を発見。さらに二〇
年にはチベット高原の中央部分
を探索として、チベット仏教の
第二の地位にあるラムチェン
・ラマにも面会しています。
この時期に同様の地域を探索
したのが浄土宗大本願寺派の第
二代法主大谷光瑞が主導した
大谷探検隊です(図6)。一九
〇二年の光瑞は隊長とする第
一次探検隊から一〇年の第三探
検隊まで足掛かり二年間にチ
ベット高原の北側のタクラマカ
ン砂漠を中心に探検が目的で
した。その探検は慧海も光瑞
も仏教の原典を探索すること
でした。

河口慧海の探検の 目的

帰国した翌年、短期でインド
を訪問。一九一三年にはチベッ
トを再訪して「五年間ど漂在し
ますが、それ以外は仏教につ
いての研究と著述に没頭しま
す。また在俗の生活でも仏道に
傾いた研究を推奨して、帰
依する在家仏教を推奨してい
ました。さらには仏教関係のい
くつかの大学が合併して、六年に設
立された大正大学の教授として
チベットの研究を継続し、晩年
は『蔵相辞典』の編集に没頭し、
戦争末期の四五年二月の東京で
逝去しました。

慧海が大谷探検隊のような強
力な組織の支援もなく人間の危
険のあるチベットへ無謀ともい
える単独潜入した理由は「西域
旅行記」の冒頭に記載してあり
ますが、本物の仏典から仏教の
本義を理解したいということだ
です。そのためには中国で漢語
に翻訳されて日本に伝来して
きた仏典ではなく、仏教の本来の
思想が記載されている梵語(サ
ンスクリット)の原典からチベ
ト語訳の仏典を導入することが
必要であるという確固たる信念
でした。

冒頭にも簡単に説明しました
が、第二次世界大戦後、中国が
チベットに侵食し、一九五九年
にタライ・ラマ四世がインド
に亡命政府を樹立した結果、六
六年に中国は西藏自治結果を

足さず、ウイグルと類似の少数民族
の言語や宗教など文化の破
壊を進行させてきました。大
陸間弾道弾発射基地や放射能汚
染物投棄場所も設けられています。
慧海の情熱を想起し、世界で第
四の宗教人口をもつ仏教の原典
を継承してきたチベットに関心
をもつ時期です。

つきお よしお
1942年生まれの古布市生まれ
1965年東京大学文学部卒業
工学博士。名古屋大学教授、東
京大学教授などを経て、東京大
学名誉教授。2002、203年総務
省総合審議官。これまで、コン
ピュータ・グラフィックス、人工
知能、仮想現実、メディア政策な
どを研究。全国各地でカニと
から、知床半島、羊蹄山麓、
釧路湿原、白鳥仰山、宮川清
流塾、瀬戸内海塾などを主宰し、
地域の有志とともに環境保護や
地域計画に取り組む。主要著書
に『日本百年の戦艦戦略』『談
社』、『縮小文明の展望』(東京大
学出版会)、『地球水』(講談社、
『地球の救い方』、『水』(遊
行社)、『100年先の話を』(モ
ラビリ研究社)、先住民族の救
済』(遊行社)、『誰も言わなかつ
た!本当は悪いヒックリタタと
サイバー戦争のカタクリ』アス
コム)、『日本が世界地図から消
滅しないための戦略』致知出版
社)、『幸福実感社会への転換』毛
拉)、『ラジ研究所』(転換日本地
域創成の展望』(東京大学出版会
など。最新刊は『漣々たる人生』
(遊行社)。



図4 法王に謁見する(『西域旅行記』)

図5 チベット脱出直後の河口慧海

図6 大谷光瑞(1876-1965)

編集後記

2000年12月号を創刊として
から7、8月合併号休刊までの月
日は、20年と6カ月。
振り返り数えてみれば長い月
日に驚くばかりだが、この年月
は決して長いものではなかった。
むしろ時間に翻弄され短くも感
じる日々を送っていた。
最終バックナンバー225号。
創刊号から表紙を飾るのはその
時の輝かきスベシヤリスト
たち。225人一人ひとりがその
時代を物語り、社会の流れを
思い起こさせてくれる。
弊紙のコンセプトが「読書を
柱に人間の生き方を一緒に考
る」が柱だった。そのため教育
現場の協力は大きいものだった。
教諭の書評、子どもの読書指導
の中心にいる図書館司書は図

書館情報記事の協力をいただいた。
そしてたくさんの方の中学、高
校生に読書座談会や、書評の参
加があった。(敬称略)
共に紙面を作り、読書活動から
学び、教えられ、育てられて
きた。紙媒体の休刊はとも残
念で寂しくもある。しかし時代
に抗わず次なるスタートとする。
弊紙は次なるネット移行に希
望を託し進みたいと思う。
読者の皆様、そして原稿執筆
協力をして下さいました先生方、
取材を快く引き受けてくれた各
界で活躍されている方々にお礼
を申し上げます。
最後になりましたが、出版
界の皆様には大変お世話になり、
助けいただきました。感謝申
上げます。(H)

- 7・8月合併号 令和3年7月2日発行
- 編集 モルゲン編集部
- 発行 (株)遊行者 ●印刷 北日本印刷(株)
- 〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町5-1F
- TEL 03-5361-3255 FAX 03-5361-1155
- HP <http://yugyosha.web.fc2.com/>
- MAIL morgen@vesta.ocn.ne.jp
- 配布エリア
- 高等学校(全国)
- 中学校(北海道/岩手/宮城/福島/群馬/栃木/茨城/埼玉/東京/千葉/神奈川/新潟/山梨/富山/石川/福井/岡山/広島/香川/愛媛/高知/佐賀/長崎/大分/熊本 沖縄)
- 朝の読書実践校(全国中・高等学校)
- 大学・短大・専門学校・サポート校、公共図書館の一部
- 月刊紙(毎月1回発行 ※7・8月は合併号)
- 定価 550円(価格はすべて税込)

この国のリアルを、知ってくだささい。 読者 渡合智子 成城大学教員

ヤングケアラ

一介護を担う子どもも・若者の現実

その救い方とは、一世代を担う子どもも・若者の現実

ヤングケアラとは……
家族の介護を行う
18歳未満の子どもを指す。

重版 出来

中央公論新社 〒100-4152 東京都千代田区大塚町1-7-1
<https://www.chuokyo.co.jp/>